

平成25年度事業計画書

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

公益財団法人 出光美術館

平成25年度事業計画

公益財団法人 出光美術館

1. 展示計画

〔要項〕

- 開館時間 午前10時～午後5時
毎週金曜日は午後7時まで開館
- 休館日 毎週月曜日
(但し、月曜日が祝日や振替休日の場合は開館)
年末年始および展示替期間
- 入館料 一般1000円、学生700円
団体(20名以上)各200円引
身障者 各200円引 (同伴者1名は無料)

〔本館〕

- (1) 土佐光吉没後400年記念
源氏絵と伊勢絵
―描かれた恋物語
25年4月6日～25年5月19日
- (2) やきものに親しむⅩ
古染付と祥瑞
―日本人の愛した<青>の茶陶
25年5月25日～25年6月30日
- (3) 文字の力・書の子カラⅡ
―書と絵画の対話
25年7月6日～25年8月18日
- (4) 日本の美・発見Ⅶ
仙厓と禅の世界
特集展示：一休ゆかりの床菜菴コレクション
25年9月21日～25年11月4日
- (5) 江戸の狩野派
―優美への革新
25年11月12日～25年12月15日
- (6) 没後50年・大回顧展
板谷波山の夢みたもの
―<至福>の近代日本陶芸
26年1月7日～26年3月23日

その他の主催展示

- 〔出光美術館（門司）〕 （公財）出光佐三記念美術館との共催
- (1) 花鳥のしらべ 25年4月5日～25年6月2日
－琳派・文人画から放菴まで
- (2) 青木木米と三代山田常山 25年6月7日～25年8月25日
－煎茶陶芸の系譜
- (3) 勝川春章の美人画 25年9月6日～25年10月27日
－北斎を生んだ浮世絵師
- (4) 中国・明清陶磁の至宝 25年11月1日～26年2月2日
－官窯の洗練、民窯の創造
- (5) 合戦図屏風 26年2月7日～26年3月30日
－源平合戦から武蔵の時代まで

出品協力

〔館外展〕

- 宗像大社 25年10月17日
茶道具
- 尾道市立美術館 25年3月20日～25年5月12日
「出光美術館コレクション ジュルジュ・ルオー展」
- 苫小牧市博物館 25年7月27日～25年8月25日
「出光美術館 日本陶磁名品展」(仮題)
- 周南市美術博物館 25年6月7日～25年7月28日
「周南市誕生10周年記念 出光美術館名品展」
(仮題)

2. 美術工芸品および文化関係資料の収集・修理保存

3. 美術工芸品および文化関係資料に関する専門的・技術的な調査研究

4. 前項の成果を解説書・目録・図録・報告書その他の形で編集出版する。

- (1) 館報 163号 25年5月
164号 25年8月
165号 25年11月
166号 26年2月
- (2) 研究紀要 19号 25年12月
- (3) 展覧会図録 本館にて開催する展覧会ごとに制作・出版する

5. 当館理事, 学芸員および斬界の諸権威により, 収蔵品あるいは展観に関連のある講演会を行う。

〔本館〕

- | | |
|-------------------------|--------|
| (1) 「源氏絵と伊勢絵」に関する講演 | 25年 5月 |
| (2) 「古染付と祥瑞」に関する講演 | 25年 6月 |
| (3) 「文字の力・書の子カラⅡ」に関する講演 | 25年 7月 |
| (4) 「仙厓と禅の世界」に関する講演 | 25年10月 |
| (5) 「江戸の狩野派」に関する講演 | 25年11月 |
| (6) 「板谷波山の夢みたもの」に関する講演 | 26年 2月 |

〔出光美術館（門司）〕

- | | |
|-------------------------|--------|
| (1) 「花鳥のしらべ」に関する講演 | 24年 5月 |
| (2) 「青木木米と三代山田常山」に関する講演 | 24年 7月 |
| (3) 「勝川春章の美人画」に関する講演 | 24年 9月 |
| (4) 「中国・明清陶磁の至宝」に関する講演 | 24年11月 |
| (5) 「合戦図屏風」に関する講演 | 25年 3月 |

6. 博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に5月～6月にかけて3回に分けて各1週間の実習を本館および三鷹に於いて当財団の学芸員の指導のもとに行う。

7. 文化研究団体への施設の貸与

当財団は（財）中近東文化センターと締結した建物使用貸借契約書（平成4年4月1日締結）に基づき、基本財産である東京都三鷹市大沢3丁目10番31号の土地・建物を引き続き無償で貸与する。

8. 本館第3展示室ほかの改修および館長室の移設

8月18日～9月16日にかけて工事を行い、館長室を旧学芸員研究室のスペースに移設し、現館長室部分を改修して第3展示室の展示スペースを拡張する。また、図書を保管していた第6倉庫と美術品一時保管用の第5倉庫の間の仕切り壁を撤収し、新第5倉庫として美術品を保管するための加湿倉庫を拡張する。

これら一連の作業に要する経費のうち、70百万円は（公財）出光文化福祉財団に寄付をあらかじめ、また、設計・施行はいまままでの工事実績を勘案して（株）大林組に発注する。

9. その他財団の目的を達成するために必要な事業を行う。